

ほうゆう保育園 全体的な計画

保育理念	子どもたちの幸せな日々のために						保育目標	～なかよく 元気に のびのびと～		
保育方針	「今日も一日楽しかった」「明日も楽しみ」と子どもたちが思ってくれるような保育園に ・楽しいこと、嬉しいことを保育士と子どもが共感できるよう子どもたちとのふれあいを大切にします ・子どもの目線に立って物事をとらえ、子どもたちにとってより良い保育を考えます ・ご家庭と保育園と協力しあい一緒に子育てを楽しみます							・よく食べ、よく遊び、よく眠る 健康な子ども ・いろいろなことに興味や関心を持ち、よく考える子ども ・”やってみよう”と思う意欲的な子ども ・友だちを大切にする子ども ・感情豊かで思いやりのある子ども		
子どもの保育目標	0歳児	・生理的欲求を満たしてもらい安心して過ごす			3歳児	・保育者や友だちと遊ぶ中で、自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現する				
	1歳児	・色々なことに興味を持ち探索活動を盛んにする			4歳児	・いろいろな経験を通し、友だちと一緒に行動ができるようになる				
	2歳児	・友だちへの関心が芽生え一緒にいることを喜ぶ			5歳児	・1つの目標に向かい、みんなで力を合わせて活動し達成感を味わう				
保育の内容										
年 齢	おおむね 6ヶ月未満	おおむね 6ヶ月～1歳3ヶ月未満	おおむね 1歳3ヶ月～2歳未満	おおむね 2歳	おおむね 3歳	おおむね 4歳	おおむね 5歳	おおむね 6歳		
養 護	生命の保持	・一人一人の生理的欲求を満たし、気持ちよく過ごせるようにする	・一人一人の生活リズムが整うよう配慮する	・気候に応じて体調管理をする	・生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ	・基本的な生活習慣を身につけられるように援助する	・運動機能が高まるように活動時間を増やす	・運動機能が増し活発に活動できるように配慮する	・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにしていく	
	情緒の安定	・個々の発達を把握し応答的なふれあいや言葉かけを行う	・喃語や身振りなどに優しく繰り返し応答し愛着関係が深まるように接する	・スキンシップにより保育士との関わり心地よさや安心感を得るように接する	・子供の気持ちを受容し、共感しながら継続的な信頼関係を築いていく	・主体的な活動を促す環境を構成し、探索意欲が高められるように見守る	・自分に自信を持ち保育士や友達と信頼関係を築けるようにする	・多様な経験を通し自己肯定感を育むように援助していく	・活動と休息の調和がとれるようにする	
教 育	健康	・外気に触れたり、のびのびと手足をうごかしたりする心地良さを感じる	・自由に移動できる喜びと身近な環境への働きかけで好奇心が、より旺盛になる	・歩行が確立し、身近な人や身の回りのものに自発的に働きかけ、遊びを楽しむ	・生活の中で援助してもらいながら、自分でできたことに喜びを感じる	・身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分からやってみようとする	・全身を使い自然やささまざまな遊具や物と関わって運動量の多い遊びをする	・目的を持ち予測して行動しようとする	・健康に必要な日々の生活習慣を自ら進んで確立していく	
	人間関係	・愛情豊かな特定の大人と過ごすことを喜ぶ	・身振りをまねるなどして、自分から人に関わろうとする	・友達や周りの人に興味関心を持ち一緒に過ごすことを喜ぶ	・生活や遊びの中で「待って」「順番」などの決まりがあることを知る	・友だちと簡単なルールのある遊びをする	・友だちと一緒に活動する楽しさを知る	・いたわりや思いやりの気持ちを持つ	・協調、協力して物事をやり遂げようとする	
	環境	・身の回りにある、いろいろな遊具、玩具などに触れて遊べるようになる	・戸外遊びを通じて動植物に親しみ、直接触れたりして興味関心を持つ	・玩具を使って遊ぶ中で友達との関わりを持つ	・戸外遊びを通じ 自分の経験したことをごっこ遊びに取り入れるなど豊かな感性や好奇心が育つ	・身近な動植物に親しみをもち、世話をすることで生命の大切さに気づく	・目的を持って行動し、造る、描く、試すことで想像力を豊かにする	・さまざまな行事に関心をもち、積極的に参加する	自然事象、社会事象、文字への興味、関心が深まる	
	言葉	・周りの音や会話に関心を示したり、あやされて笑い返したりする	・大人の口元の動きや声、言葉などをまねしようとする	・経験の中で得た簡単な言葉を使って、自分の気持ちを表現しようとする	・生活や遊びの中で、簡単な言葉でのやりとりを楽しむ	・友だちや保育士との会話を楽しむ	・友だち同士、言葉で伝え合いながら、遊びの状況を共に理解しようとする	・言葉によって共通のイメージを持ち、ひとつの目的に向かって一緒に行動しようとする	・意見を調整しながら友だちの中で合意を得、遊びを広げる	
	表現	・音に興味を持ち、音の出るものを喜ぶ	・大人に歌をうたってもらったり、体を揺らしてリズムをとったりする	・玩具や抽象的なものを実物に見立てて遊ぶ	・保育士や友だちと関わりながら、自分なりのイメージを膨らませて楽しんで遊ぶ	・色々な素材や用具に親しみ、友だちと工夫して遊ぶ	・創造力が豊かになり作ったり描いたりする	・いろいろな素材や用具、表現方法に関心を持つ	・友だちとイメージを共有した上で役割分担をし、共同遊びやごっこ遊びを満足いくまでやる	
食 育	食を営む力の基礎	・大人の食べている物に興味を示す	・手づかみでも自分で食べようとする	・いろいろな食品や味に慣れる	・声掛けに応じて様々な食材を食べてみようとする	・友だちと一緒に楽しんで食べる	・慣れない食べ物、苦手な食べ物にも挑戦してみようとする	・健康と食べ物の関係について関心をもつ	・自分の健康に関心を持ち必要な食品を進んでとろうとする	
健康支援	・健康・発達・発育状態の把握 ・心身状態や家庭生活 養育状態の把握 ・春 秋の健康診断 ・歯科検診 ・異状が認められたときの対応 ・長時間保育の子がくつろげるような環境作り				特色ある保育	・一時保育 ・延長保育 ・障害児受け入れ・体育指導(幼児クラス)・人形劇観劇・閑静な住宅街の中 にあり園庭に接している畑で野菜を収穫・畑に来る方との交流・収穫した野菜を給食で提供				
環境衛生管理	・施設内外の設備、用具などの清掃、消毒 ・安全管理及び自主点検 ・職員検便				社会的責任	・児童福祉施設として子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を確実に果たす				
安全対策 事故防止	・毎月の避難訓練(地震・火事・不審者・竜巻) ・消防設備点検 ・災害時用備蓄 ・電子錠設置 ・アルソック加入 ・安全点検表 ・インシデントケースレポート				人権尊重	・保育士等は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられていることを認識し、理解する				
小学校との連携	・さくら組と小学校1年生との交流会・幼保小連絡会議に参加・保育所児童保育要録を小学校へ送付				説明責任	・保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い運営をすることで、一方的な説明ではなく、わかりやすく応答的な「説明」をする				
保護者・地域との 連携	・一時保育 ・育児相談 ・保育体験 ・ホームページに園だより、献立表を掲載				情報保護	・保育にあたり、知り得た子どもや保護者に対する情報は、正当な理由なく漏らしてはならないことを順守する				
研修計画	・園外研修 ・園内研修(保育内容・ケース会議など) ・研修報告				苦情処理・解決	・運営委員会を設置する ・苦情解決責任者は施設長とする ・ひとつひとつの事案に対し、職員間の共通理解を図る ・第三者委員				